

令和 7 年度後期 公開授業が開催されました

1 月に公開授業を開催いたしました。本授業では、中国経済の発展モデルを理論・統計調査・事例を複合的に扱うことで、受講生の理解を効果的に深めていました。航空写真や現地映像を用いた解説により、抽象的な経済構造を視覚的に捉えさせる工夫がなされ、概念理解の定着が促されていました。多様な教材を活用して主体的な学びを引き出しつつ展開される授業は、教員として非常に学ぶことの多い公開授業でした。学期末も近いお忙しい時期にも関わらず授業の公開を快くお引き受けくださった李 佳先生には心より厚く御礼申し上げます。以下、当日の授業の様子とご参加くださった教員の皆様からのご意見の一部をご紹介します。

なお、FD 委員会では引き続き、教員相互の学びのための公開授業を行って参ります。ぜひ多くの先生方にご参加、さらには授業公開へのご協力をいただけますよう、お願い申し上げます。

【日時・場所】 1 月 7 日（金）5 限 コモンズ 3 号館 5201 教室

【教職員参加者数】 7 名

【授業科目】 中国経済

【担当教員】 国際経済学部 李 佳 准教授

【対象学科・学年】 国際経済学科・3 年

【テーマ】 第 13 回 国と民のせめぎ合い

【授業のねらい】

地方政府主導の産業集積と草の根から勃興した民間企業の側面から、中国経済の発展モデルについて考える。

【当日の授業の概要】（1 月 7 日公開授業）

本授業では、「国と民のせめぎ合い」という視点から中国経済の発展モデルを考察し、産業政策、企業構造、地方事例を軸に解説が行われました。前半では、中国の産業政策における技術のキャッチアップとキャッチダウンの概念を整理し、1980 年代以降の政策転換が中国産業の発展にどのような影響を与えてきたのかが確認されました。続いて、中国モデルや北京コンセンサスをめぐる議論を通じて、2010 年代以降の成長段階の変化、輸出依存からの転換、米中対立を背景とした国家と市場の役割分担をめぐる論点が提示されました。さらに、国有・民間・外資系企業が併存する三者鼎立構造や、近年の国有・国有持ち企業の存在感の変化を踏まえ、中国経済の方向性について多角的な検討が行われました。後半では、義烏（イーウ）を事例に、改革開放以降の制度変化と産業集積の発展過程を、Google Map による航空写真の変遷や現地映像を用いて具体的に確認し、グローバルな政治経済環境と地域経済の関係を実感をもって理解する機会となりました。本授業では理論的枠組みの整理や統計調査の結果提示に加え、地図、航空写真、現地映像といった多様な資料を効果的に組み合わせることで、中国経済の構造変化を具体的かつ立体的に理解できるよう工夫がなされていました。多様な教材を複合的に用いながら

議論を展開することで、中国経済の発展モデルを多面的に考察する機会となる授業でした。

参加者アンケートより（一部抜粋）

【1. 今回の授業の感想をお聞かせください。】

- ・ 授業の内容は論理的に構成されており、伝いたい内容がすんなりと理解できたので良かった。動画も効果的に使われており、学生が飽きない工夫がされていた。
- ・ とても素晴らしい授業でした。李佳先生は学生にとっても人気な先生だと聞いたことがありますので、学部授業の教え方や進め方を勉強するために公開授業に参加致しました。授業内容に応じて適切な動画を見せたり、データやグラフを使って説明したり、テキストの補足ではなく、テキストを超える内容でした。教え方に惹かれて、すでに知っている内容ですが興味深く聞きました。
- ・ *Although I could not understand much, it was a good lecture.*
- ・ 冒頭に前回授業の復習をされていましたが、とても分かり易く概要を説明されており効果的だと思いました。ビデオクリップを教材にお使いでしたが、外国経済についての授業・学修にはとても有効だと感じました。
- ・ 丁寧に前回の振り返りをされたのち、授業のテーマである「国と民のせめぎ合い」について、パワーポイントのみならず動画や地図等を駆使して、学生にわかりやすく説明をされていました。自然に反復をしつつ、深掘りをしつつ、授業時間内に学生が理解できるよう工夫がされており、専門外の私も、教育的手法のみにとどまらず、興味深く楽しんで学ぶ機会となりました。

【2. 今回の授業を参観して、ご自身の授業をどのように振り返られましたか。また、授業に生かしたいと思ったことなど、御自由に御記入ください。】

- ・ 自分の授業内容が、学生にとって理解しやすい展開になっているかどうかを見直す切っ掛けとなった。今後の資料作りについて活かしたいと思う。
- ・ テキストだけではなく、適切な動画などを活用することで、授業をもっと面白くする教え方はとても素晴らしいと思います。今後私の授業に生かしたいです。この度は李佳先生および公開授業に参加するチャンスをご提供いただいたFD委員会に感謝致します。
- ・ 単元の冒頭に、どういう項目・話題について授業を進めるかを明示されていた（授業のロードマップ）点は、自身の授業にも取り入れたほうが良さそうだと考えました。公開授業実施にご協力賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。

